



きゅうしょく

れきし

きゅうしょく

はじ



給食の歴史～給食の始まり～



めいじ

ねん

ねん

やまがたけん

ちゅうあいしょうがっこう

ひんこん

明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で貧困

じどう

たいしょう

むしょう

ちゅうしょく

ていきょう

きゅうしょく

児童を対象に無償で昼食を提供したことが給食の

きげん

い

とうじ

さけ

しおや

な

起源と言われています。当時はおにぎり、鮭の塩焼き、菜

つけもの

こんだて

の漬物という献立でした。

きゅうしょく

さけ

しおこうじや

やさい

あ

もの

給食では、おにぎりと鮭の塩麴焼きに、野菜の和え物

とんじる

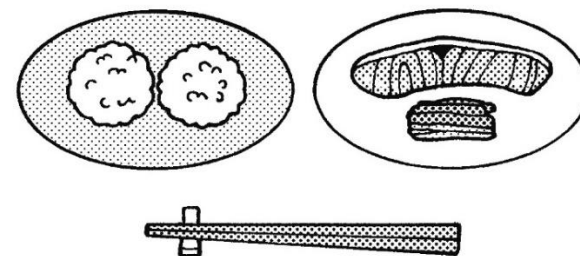
きゅうしょく

げんてん

と豚汁をつけました。給食の原点を

かんしゃ

感謝しながらいただきます。





おにぎり、^{さけ} 鮭の塩 ^{しおこうじ} 麴 ^や 焼き、^あ ごま和え、^{とんじる} 豚汁